

## 平成 28 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月

### 1. 学校概要

学校名                     稲城市立稲城第七小学校                      
 種 別  保育園・幼稚園         小学校                       小中一貫教育  
 中学校                       中高一貫教育         高等学校  
 教員養成                       技術/職業教育  
 特別支援学校         その他 (                                      )  
 所在地 〒 206-0812                      
                    東京都稲城市矢野口 1901-2                      
 E-mail                     inagi7e@educet.plala.or.jp                      
 Website                     http://academic1.plala.or.jp/ine7e/index.html                      
 児童生徒数 男子 310名            女子 314名            合計 624名  
                     児童・生徒の年齢 6歳～12歳

### 2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか (                                      )

### 3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

#### 【1年生】冬とあそぼう～伝承遊びをしよう～

**概要**：自分たちが植えたマリーゴールドの花を使って、ハンカチを染める。また、伝統的な草木染めの模様に入れ方を知り、自分で工夫して模様を付け、その美しさを感じることができる。

**成果**：子供たちは、自分の幼稚園で草木染めを体験したこともある児童がいるようではあるが、ハンカチをタンパク質に浸す下処理や、染め液や媒染液に交互に入れ、自分たちで混ぜてむらがないように混ぜ続ける作業に初めて取り組んだ。

草木染めにおいて伝統的な絞り模様を入れたり、道具を使って自分で工夫して模様を付けたりした。児童は、協力して物事を成し遂げることの大切さを感じた。また、自分のハンカチをどのような模様にしたいかの予想を立て、計画して模様を付けることができた。

#### 【2年生】矢野口たんけん

**概要**：自分たちの住んでいる地域の矢野口をもっとよく知るために、地域の探検をしたり、弁天通り商店会の店の方にインタビューをしたりするなど、地域のよさを発見するとともに、地域の人たちとふれあう活動を行った。

**成果**：地域の人たちと積極的にコミュニケーションをとることによって、自分たちが地域の人たちとつながっているということを実感することができた。また、すすんで活動に参加することで、受け身にならず、自分から関わろうとする気持ちや、地域に生きる一員として、共に生きているという意識が高まった。

#### 【3年生】なしのことを知ろう

**概要**：近所の梨農家の方の協力を得て、梨の花粉付け、摘花、袋かけ、収穫の体験をさせていただいた。また、体験したことをもとに自分で課題をもち、梨について本で調べ、ポスターや新聞などにまとめた。

**成果**：地域柄、旬の時季には梨を食べることが多いという児童だが、自ら体験をすることで、矢野口の梨は農家の方々が大切に育ててきたこと、安心・安全な梨作りのために農家の方々が思いを込めて様々な工夫していることを実感した。また、自ら課題意識をもって調べ、梨には歴史があること、梨にある栄養などを知った。これらの学習を通して、自分も地域の一員として、これからも梨作りが続いていき、地域外の人にも矢野口の梨の良さを広めたいという思いが強くなった。

#### 【4年生】矢野口お宝探検隊

**概要**：地域（乙奴連）や市役所（夜見月連）の方々に阿波踊りを教えてもらい、矢野口で長年続いている「稲城阿波踊り大会」に参加した。

**成果**：実践を通して、子供たちは今まで経験したことがなかった阿波踊りを心から楽しんだことはもちろん、阿波踊りについての知識や行事に関わる人の思いを知り、自分も地域の一員であることに気付いた。また、地域の方々と関わる楽しさを感じた。

#### 【5年生】地域の情報を発信しよう

**概要**：地域にある三沢川について、調べ学習を行い、三沢川の知識を深める。また、自分の課題を設定し（例「三沢川に生息する生き物」など）、小田良の里宿泊体験学習時に、

小田良まで三沢川沿いを歩き、観察を行う。

**成果**：今年度は小田良にはいけなかったが、若葉台親水公園まで歩くことができた。実践を通して、子供たちは、今まで何気なく遊んでいたたり、見ていたりした三沢川の源流や三沢川分水路、三沢川は多摩川につながっていることなどを初めて知り、地域の川への理解を深めた。また、三沢川を観察しながら歩いたことで、三沢川には、たくさんの生き物や植物が生息し、自然豊かな場所であるが、ゴミが落ちていたり、水が汚れていたりするところがあることにも気が付いた。地域にとって大切な川（自然）である三沢川  
の環境を守り、これからも地域の人の憩いの場であり続けられるように、自分にできることを行っていききたいという心情を育むことができた。

## 【6年生】野沢温泉村宿泊体験学習

**概要**：野沢温泉村での宿泊体験学習では、児童それぞれが自ら課題を設定し、ブナ林の中で  
のキャンプ生活や村での生活を通して、野沢の自然の雄大さや野沢温泉村の方々の人と  
人とのつながりや温泉の管理における想いなどを実感した。また、4泊5日の共同生活  
を通して、友達のよさを改めて感じるとともに友情を深めた。

**成果**：体験的な学習を通し、野沢と東京との関連や、自分たちのまちである稲城との違いに  
ついて学び、自然を大切にしていこうとする心情を育てることができた。また、共同生  
活をするなかで、集団行動の規律の大切さや、仲間とともに助け合うことの素晴らしさ  
を再認識し、自分の事は自分で責任をもって取り組む姿勢を身につけることができた。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）

時間外活動の時間を使用

ユネスコクラブの活動として実施

その他（）